

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策

【松江市立 義務教育学校玉湯学園後期課程】

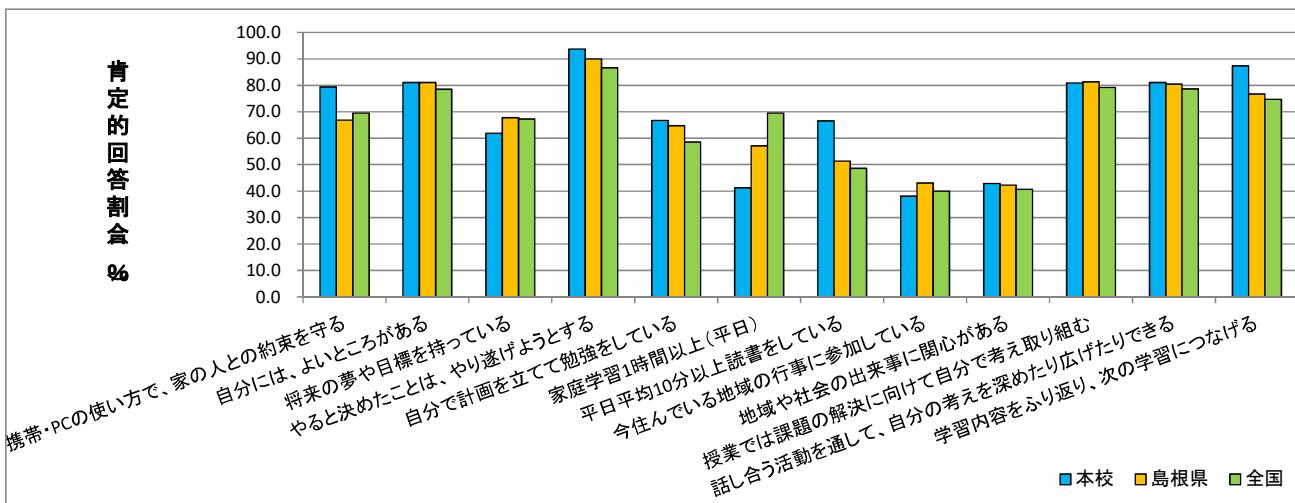
### (1)学力調査結果から見られた傾向

|    | 成果と課題(○:成果、●:課題)  | 対策(・)  |
|----|---|--|
| 国語 | ○朝読書の積み重ねや丁寧な読み取りの学習を積み重ねた結果、物語や論理的な文章の読み取りの力がついてきている。<br>●自分の考えをまとめて書く力がやや不足している。                                    | ・短時間でも、毎時間書く指導を授業に取り入れ、積み重ねていくようにする。<br>・月に一回は200字程度の作文を書くようにし、丁寧に指導を重ねるようにする。                       |
| 数学 | ○「なぜそのようになるのか」を授業内で話し合ったり、各単元の授業の中で説明を書く練習に取り組んだ結果、記述式問題の正答率が高くなっている。<br>○数と式の分野は定期的に小テストを実施して計算方法の理解を徹底した結果、成果がでている。 | ・授業内でのペアやグループワークにおける説明活動を引き続き充実させていく。<br>・小テストや単元テストなどを定期的に行うことで、生徒の理解の状況を把握したり、数学が苦手な生徒のサポートを丁寧に行う。 |
| 理科 | ○実験・観察を行い「なぜそのようになるのか」を授業内で話し合ったり、目に見えないものをモデルで表現する活動を取り入れた結果、記述問題の正答率が高くなっている。<br>●実験の計画を検討したり、探求の過程の見通しをもとに課題がある。   | ・授業内でのペアやグループワークにおける説明活動を引き続き充実させていく。<br>・実験の計画を検討したり、探求の過程の見通しをもてるように授業改善を行う。                       |

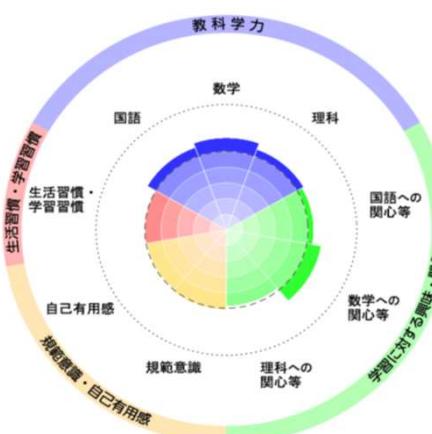
### (2)生徒質問紙調査から見られた傾向

|     | 成果と課題(○:成果、●:課題)  | 対策(・)  |
|-----|---|--|
| 質問紙 | ○携帯やPCの使用について、各家庭で決められているルールを守っている生徒の割合が多い。<br>○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直している生徒の割合が多い。<br>●家庭学習を普段1時間以上している生徒の割合が少ない。 | ・進路目標に向けて継続的に学習することの意義を再確認し、学習方法や学習時間設定について指導・助言を行っていく。<br>・放課後等の時間を活用して、必要な補充学習を行う。 |

### (3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



### (4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



### (5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・自分の意見や考えを順序立てて述べるような機会をたくさん設定し、自己主張ができるようにする。
- ・学園ならではの縦つながりや、地域の人々と関わる場面などを活用し、人とうまく関われる力を伸ばしていく。

【受検者数】  
64名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。